

ふるさと納税 寄附金の使いみち

Vol.14

このコーナーでは、ふるさと納税のお金を活用した、さまざまな事業を紹介します。

窓口の一部業務をデジタル化！

「窓口 DX 事業」改革中！

寄附区分：②安心して暮らせるまちづくり事業

☒ みらい平市民センター市民窓口課（内線 9812）

伊奈庁舎市民窓口課（内線 3404）

谷和原庁舎市民窓口課（内線 3453）

市民窓口課（伊奈庁舎・谷和原庁舎・みらい平市民センター）では、窓口の一部業務のデジタル化の開始に向けて準備をしています。今よりもっと便利な窓口を目指して改革中です。

改革① タブレットを活用して待ち時間を短縮！ ※3月導入予定

窓口のタブレットでタッチパネルを操作し、印刷された申請書などに署名するだけで書類ができあがります。また、職員のシステム入力作業にかかる時間が短縮されることで、速やかに証明書を交付できます。

- ▶対象書類：証明書交付申請書（住民票の写し・印鑑登録証明書）
住民異動届（転入・転出・転居など）



ふるさと納税のお金

2,200万円

窓口 DX 事業
事業費

約 7,100 万円

国の補助金

3,555万9千円

改革② マイナンバーカードを利用して窓口にはばず証明書をゲット！

詳しくはこちら



マイナンバーカードを利用して各種証明書が交付できるマルチコピー機を、伊奈庁舎市民窓口課前に設置します。谷和原庁舎とみらい平市民センターには、マルチコピー機と同じ操作のタブレットを4月から設置する予定です。

- ▶利用開始日：2月1日(木)
▶利用可能時間：平日 午前8時30分～午後5時15分

- ▶対象書類：住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書、非課税証明書、所得証明書、所得証明書（児童手当用）
※土・日・祝日・年末年始・システムメンテナンス日などは利用できません。
※交付には手数料がかかるほか（3月31日(日)までは100円、本市以外の証明書の場合は各自治体が定めた手数料）、マイナンバーカードと利用者証明用電子証明書の暗証番号（4桁の数字）が必要です。



「つくばみらい市防災訓練」を実施しました

令和5年12月23日、つくばみらい市防災訓練を実施しました。訓練は「大雨の影響で鬼怒川・小貝川が増水し、氾濫の危険性が高まっている」という想定で行いました。災害発生時には、まず「自分の命は自分で守る」＝「自助」、「みんなで助け合う」＝「共助」の精神が大切です。市民一人ひとりが災害に対して十分な準備ができるように、自助・共助の知識の普及・啓発を図り、本市の防災力向上を目指します。 ☒ 伊奈庁舎防災課（内線 2502）

全市民に対し「避難指示」を発令！

午前10時、全市民に対し避難指示を発令、防災行政無線などで周知し、マイ・タイムラインの確認、玄関先までの避難を促しました。



富士見ヶ丘小学校で防災イベント！

避難指示を受け、福岡地区・十和地区の一部住民が富士見ヶ丘小学校に避難しました。同校では、本市の防災士資格取得補助制度を活用した防災士による「防災クイズ」を実施しました。



発災時さながらの緊張感で、災害事象に対応！

避難行動要支援者の輸送訓練のほか、情報共有室、災害警戒本部の設置訓練を実施し、職員の災害対応を確認しました。

